

社会

第2学年

海田町立海田西中学校

指導者 倉本 光

単元名

## 北海道地方 - 雄大な自然とともに生きる人々の暮らし -

本単元で育成する資質・能力

知識・情報, 主体性, 自らへの自信

### 1 単元について

#### (1) 単元観

本単元は、中学校学習指導要領社会（地理的分野）における（2）「日本の様々な地域」の事項ウ「日本の諸地域」に関する単元で、北海道地方を（ア）自然環境を中核とした考察の仕方によりを扱う。本単元では写真資料や図表を読み取り、学習する地域の様相をイメージして自らが生活する地域と比較しながら地域的特色を捉えさせることをねらいとしている。また、本単元は「日本の諸地域」で最後の地域にあたるため既習事項を活用して日本全体を俯瞰する視点を持ちやすいと考える。

北海道は生徒の居住地から遠く、イベントや旅行先として認識するだけにとどまりがちであるが、自然環境・産業の両面から考察することで実際の生活を伴う場所と認識させる。北広島市を題材として扱うことで広島との繋がり、開拓の歴史や大規模農業が可能な背景を理解できる。また、資料から各地方や日本全体の産業に遡って学習する契機となるように活用できる単元であると考ええる。

#### (2) 生徒観

本学級の生徒は社会的事象への興味・関心が高く、意欲を持って授業に臨むことができる。今年度の「基礎・基本」定着状況調査において、「授業では解決しようとする課題について、たぶんこうではないか、こうすればできるのではないかと予想しています」に肯定的に回答した生徒が88.9%であり、普段の授業でも教師の発問に対して既習事項を活かした発言が見られる。

しかし、既習事項の定着度合いは個人差が大きく体系的な知識として習得しているとは言えない。定期試験では復習の分野に入るほど正答率が低下する傾向が見られ、直近の試験対策を越える学習には繋がっていない。また、広島から遠い地方の単元では実感や関心が薄くなり、イメージや比較対象を持っていないため、積極性を発揮できない場合がある。

#### (3) 指導観

指導にあたっては、条件を踏まえた説明を他者に伝えることに視点をおき知識・理解内容を活用する力を育てて発表をやりきる自信を高めさせたい。キーワードを挙げて既習知識を問いかけ、生徒の発言を板書に組み込んで肯定的に評価することで自己有用感と知識活用の体験を積み重ねていきたい。発表前後の段階を設定して、①個人での情報読み取り②班での共有・発表③再考・まとめを確実に進めることで一人一人に話す内容を持たせ、他者と比較検討し相互評価する機会をつくっていく。

第一時では、広島と比較して北海道の地理・気候的特色を知り、イメージを持たせる。あわせて課題を設定して北海道の自然と産業について学ぶ方向性を確認する。第二時では、北海道の文化と歴史から生活の工夫を調べる。第三時では、北広島市を取り上げてパンフレットの情報を読み取り、分類する。第四時では、北広島市の例をもとに北海道全体の産業へ対象を広げて分類する。第五時では、班ごとの発表を行い、発表の内容・方法の工夫を相互に評価して単元全体の振り返りを行う。

## 2 単元の目標

- 北海道に「広島」の地名を持つ地域があることに関心を持ち、自然環境と産業の関係性を追求する学習に主体的に取り組むことができる。 **【社会的事象への関心・意欲・態度】**
- 気候や産業の特色を諸外国や日本の他地域と比較して北海道地方特有の課題を見出し、その対策について多面的・多角的に考察できる。 **【社会的な思考・判断】**
- 北広島市のパンフレットから農業・工業に関わる情報を適切に選択し、読み取った内容を分析している。北海道の産業をまとめて、聞く人に分かりやすい発表を工夫している。教科書・資料集等の記述と比較して北海道全体との共通点・相違点を分析できる。 **【資料活用の技能】**
- 北海道の自然環境を知り、資料をもとに位置や地形の特色を理解できる。 **【社会的事象についての知識・理解】**

## 3 単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
①北海道に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、広い視野に立って我が国の国土の特色について認識を身につけている。	①北海道の歴史・気候から発展の課題を見だし、生活と関連付けて多面的・多角的に考察し、公正に判断できる。	①地図・雨温図から気候的特色を把握できる。 ②北広島市のパンフレットから情報を読み取って分析できる。	①北海道地方の地域的特色を日本や世界各地と比較して理解している。 ②教科書や資料から得た知識を説明できる。

## 4 本単元において育成しようとする資質・能力

本校で育成したい資質・能力は、①知識・情報 ②主体性 ③課題発見・解決力 ④チャレンジ精神 ⑤自らへの自信の5つである。そのうち、本単元で重点的に指導したい資質・能力は次の3つである。

育成したい資質・能力	本単元の学習を通して目指す姿
主体性	「北広島市」の由来に興味を持ち、歴史や産業を知ろうとしている。
自らへの自信	他人の意見と比較して完成度を高めようとしている。
知識・情報	既習の知識・資料情報を関連付けて体系化できる。

5 単元の学習指導計画（全5時間）

時	学習内容	評価				
		関	思	技	知	
1	○北海道の地理・気候的特色を知り，広島と比較して興味・関心を持つ。 <b>課題の設定</b> 「なぜ北海道に住み，どのように暮らしているのか」	◎			○	(・) 評価規準 (評価方法) (★) 資質・能力の評価 (評価方法) ・北海道の学習に関心をもっている。(行動観察) ・自然環境を踏まえた北海道の生活を理解できる。(ワークシート)
2	<b>情報の収集</b> ○アイヌと開拓の歴史から北海道が発展してきた方向性を知る。 ○北海道に住む人々の努力・自然の活用方法を調べる。			◎	○	・北海道の歴史を知り・アイヌ民族について理解できる。(ワークシート) ・寒冷地の工夫について資料を用いて調べることができる。(行動観察)
3 本 時	○北広島市の歴史・場所と特色を知る。 ○北広島市のパンフレットから情報を読み取る。 <b>整理・分析</b> ○教科書の記述と関連づけて産業ごとに分類する。		○	◎		・北広島市を例に産業を分類できる。 ・教科書と比較して読み取った内容を整理できる。(ワークシート) ★「北広島市」の由来に興味を持ち，歴史や産業を知ろうとしている。【主】 (行動観察)
4	○北広島市では不足する漁業・酪農を補足して北海道全体の産業の特色を整理する。 <b>まとめ・創造・表現</b> ○自然環境と歴史を踏まえ，発表する産業や特色のテーマを決める。		◎		○	★北広島市の例を活用して北海道全体の産業を整理できる。 【知】 (ワークシート) ・班の話し合いに積極的に参加している (行動観察)
5	○班ごとのテーマに沿って発表する。 ○他の班の発表を聞いて気付いた点を加えて，「学習のまとめ」を再構成する。 <b>振り返り</b>	◎			○	・北海道の産業・特色を説明する発表ができる。(発表) ★他人の意見と比較して完成度を高めようとしている。 【自信】 (ワークシート)
<p>★「深い学び」を実現した生徒の具体 北海道は広い農地を夢見た人々の開拓によって発展した場所で，アイヌ民族の名残が地名に残っている。寒さに負けない稲の開発や客土，遠い消費地にも運べるハム・チーズなどの食品加工を工夫している。自然を活かした観光では冬のリゾートやエコツアーリズムが行われている。</p>						

## 6 本時の学習

### (1) 本時の目標

北広島市のパンフレットから情報を読み取り，町の特色を説明しよう。

### (2) 本時の評価規準

#### ○ 社会的な思考・判断・表現

- ・北海道の歴史・気候から発展の課題を見だし，生活と関連付けて多面的・多角的に考察し，公正に判断できる。

#### ◎ 資料活用の技能

- ・地図や雨温図の読み取りから北広島市の気候的特色を把握して，パンフレットから情報を読み取っている。

### (3) 準備物

- ・ワークシート
- ・タイマー
- ・プロジェクター
- ・パソコン（教師用）

(4) 本時の展開

過程	学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する状況」と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準 (○) 教科の指導事項 (★) 資質・能力 (評価方法)	
導入	1 雨温図の読み取り 「どちらが海田町の雨温図だろう」	◇雨温図の読み取る際の注意点を確認する。 ◆雨の時期・平均気温に着目させる。		
展開	2 雨温図の比較 「北広島市はどこにあるだろう」	◇広島と付いても広島県では無いことに気付かせ、地図帳の索引を利用させる。 ◇開拓の歴史に再度触れる。	○積極的に資料を活用している。(行動観察)	
	3 本時の目標の確認	北広島市のパンフレットから産業の特色を発見して整理しよう。		
	4 パンフレットの読み取り 「紹介に使える情報を探そう」	◇グループで必要なキーワードを書き出してまとめさせる。(GW) ◆農業・工業の記述、写真に注目させる。	○班員と話し合い、情報を共有して深めることができる。(ワークシート)	
	5 情報の分類・整理 「情報を分野ごとに整理しよう」	◇集めた情報をもとにワークシートを利用して①地形・気候②農業・工業③文化・歴史に分類する。(GW) ◆稲作と畑作に分けて考えることを伝える。 ◆ハムなどの食品加工も工業に分類されることを伝える。	★「北広島市」の由来に興味を持ち、歴史や産業を知ろうとしている。【主】(ワークシート)	
	★めざす生徒の発言 ・大規模農業ができるし、札幌市に近い立地で近郊農業もできるのは有利だね。 ・石狩平野は米の生産が盛んで、北広島市は寒冷地稲作の発祥地らしい。 ・ハムや乳製品の食品加工業と新聞社の印刷工場があって工業も発展しているね。			
	Q 整理した内容は北広島市だけのもの？北海道の特徴なんだろうか？			
6 教科書との比較 「教科書の記述と比較して確認しよう」	◇p. 258, 259 を示して北海道の農業・工業に見られる特色をまとめる。(個人学習) ◆机間巡視の際に指導を加える。	○北海道の農業・工業について理解している。(ワークシート)		

まとめ	7 学習のまとめ	◇教科書に線を引いて北海道の稲作・畑作と食品工業の関連をまとめる。	
	8 振り返り	<p>★めざす生徒の姿</p> <p>北広島市では古くからの寒冷地稲作や札幌市に近い立地を活かした近郊農業を大規模で行っている。地消できないものは加工食品として各地に運ばれている。また、工業団地も形成されており新聞社の印刷工業なども作られている。</p>	
	9 次時の予告		

(5) 板書計画

目標：北広島市のパンフレットから産業の特色を発見して整理しよう。

①北広島市はどこだろう？

北海道→札幌の南東 広島から移住  
石狩平野・内陸部

③情報を整理しよう。

地形・気候
農業・工業
文化・歴史

【班ごとの発表内容】

スクリーン

②パンフレットを使って北広島市を紹介しよう。

【班ごとの発表内容】

④北海道の農業・工業をまとめよう

⇒教科書 p. 258, 259 を活用！

寒冷地稲作・大規模農業・食品工業